

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アンケート結果から、子どものことを理解し、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画に落とし込むことができている。	日々の支援での子どもの様子や保護者からの情報を職員同士で共有し、話し合う場を設けている。個々の目標に対し、職員の支援の方法等に違いがでないよう、共通の認識をもって支援している。その結果も共有し、次の目標や新たな課題へと繋げている。	より専門的な視点での分析ができるよう、積極的に勉強会や研修に参加し、得た知識などを職員間で共有していく。継続して職員間の話し合いや、支援方法の統一などを行っていく。
2	アンケート結果から、日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると評価していただいていると思われる。	モニタリング面談や日々のお引渡しの際に、ひまわりでの子どもの様子や、お家での様子の情報交換をさせていただいている。	継続して情報交換に努める。なかなかお話しする機会のない保護者ともいつでも情報交換できるよう、職員間で情報を共有しておく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	アンケート結果から、保護者会の開催や保護者同士の交流等の機会が設けられていると評価していただいている方が少ない。	保護者会は、年1回開催してはいるが、頻度が少ないことが要因の1つではないかと思われる。	保護者会の回数を増やすことや、保護者同士で交流できる場の提供を考えている。
2	アンケート結果から、子どもが通所を楽しみにしていると評価していただいた方が少ない。	支援内容や支援の仕方に要因があると考えている。子どものたちに寄り添った支援内容なのか等、振り返りが足りないのではないかと考えている。	支援内容や支援方法の振り返りを行う。一方的な支援となっていないか、子どもたちの声に耳を傾けることができるか、しっかりと検討していく。
3			